



DOHC 4 VALVE CYLINDER HEAD KIT 取扱説明書

商品番号	: 01-03-6022	D25/30カム (124cc/138cc用)
	: 01-03-6023	D25/25カム (100ccスカット用)
	: 01-03-6024	D15/15カム (106ccスカット用)
	: 01-03-6025	D10/10カム
適応車種	: モンキー、ゴリラ、BAJA (適応仕様車両)	
フレーム番号	: Z50J-2000001~	
	: AB27-1000001~1899999	

- ・この度は、弊社製品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・ご使用前に必ずこの取扱説明書を良くお読み頂き内容を把握下さいませお願い致します。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

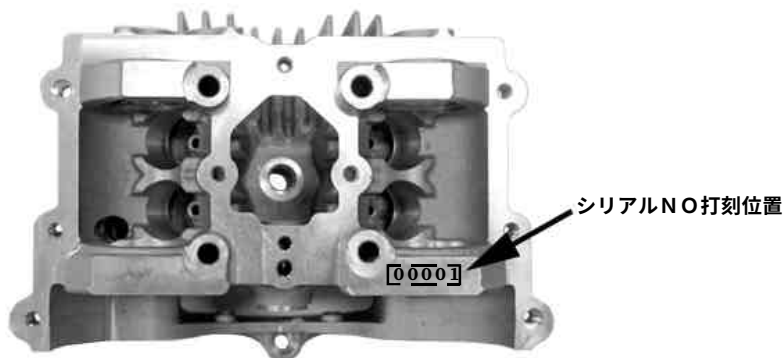
☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- このシリンダーヘッドは仕様データ表にある仕様のエンジン及び車体でしか使用出来ません。
適応していない部品があれば、適応部品に交換して下さい。
- 124ccキット時は、STDクランクケースに使用する場合、スリーブ挿入部分の加工が必要になります。加工は弊社にて行っておりますのでお使いになるシリンダーヘッドの取扱説明書を良くお読みになってお送り下さい。もしくは最寄りの内燃機関専門店にご相談下さい。
- このキットを組み付ける場合スリーブ挿入部を加工する為、クランクケースの強度が低下します。またエンジンの出力が向上する為、STDクランクケースでは破損してしまう可能性があります。
各部の強度を増した弊社クランクケースセット (100/106cc: 01-00-0038、124cc: 01-00-0039、138cc: 01-00-0040) の使用をお薦めします。
- 出力、仕様に応じたスプロケットに交換して下さい。
- スパークプラグの種類が変わります。専用の物に交換して下さい。また、焼け具合により熱価を設定して下さい。
- 必ずトルクレンチを用意して、規定トルクを守り作業して下さい。(トルクレンチは必ず必要になります。)
- 他社製パーツとの組み合わせは、かたくご遠慮させて頂きます。
- エンジン回転計を取り付け、必ず指示されたエンジン回転数以下でご使用下さい。
- 燃料は必ず無鉛ハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。
- 記載内容や仕様などは製品改良のため、予告無く変更する場合があります。予めご了承下さい。
- このキットは、CDI点火車両に限ります。ポイント点火車両には使用出来ません。また、弊社製以外の点火系は使用出来ません。
- 取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により、事故や損害が発生した場合、弊社はその賠償の責を一切負いかねます。
- 指示している部品以外との組み合わせによるトラブルでの保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- モンキー用、ゴリラ用マフラーは取り付け出来ません。マフラーは、専用のエキゾーストパイプを用意しております。別紙エンジン適応仕様を参考にお買い求め下さい。
- シリンダーヘッドキットとして購入された場合は、このキットは単独で使用出来ません。「弊社専用エンジンパーツ」を購入していない場合は、別紙「ボア&ストロークアップ参照表」を参照し、専用パーツをご購入下さい。
- クレームについては、材料及び、加工に欠陥があると認められた製品に対しては、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として修理又は交換させて頂きますが、工賃その他費用は対象となりません。
また、レース等でご使用の場合は、いかなる場合もクレームは一切お受け出来ません。ご了承下さい。
- 当製品を使用しトラブルが発生した時、当製品以外の部品保証は、一切負いかねます。ご了承下さい。
- このパーツはクロード競技用として開発した商品ですので、一般公道では使用しないで下さい。もし一般公道で使用する場合は、必ず道路運送車両法の保安基準を充たし、違法運転を心掛けて下さい。(138cc除く)
(道路運送車両法の保安基準を充たさない車両で公道を走行すると、違反となり運転者が罰せられます。)
- 当製品を組み付けた車両を一般道路で運転するには、自動二輪小型限定以上の免許を取得されている方に限られます。
また、市町村役場へ原付一種から原付二種への変更届けを提出し、任意保険及び強制賠償保険は、排気量増大の申請手続きを行って下さい。(138cc除く)
- 138ccでご使用の場合は、クロード競技専用部品です。いかなる場合も一般公道では、使用出来ません。

◎シリンダーヘッドにはシリアルNOを打刻しております。

シリンダーヘッドに打刻されたシリアルNOで、生産日、ロット、仕様を管理します。

小部品発注時には、シリアルNOが必要な場合があります。



⚠ 注意

この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

- このパーツはクローズド競技用として開発した商品ですので、一般公道では使用しないで下さい。一般公道で使用する場合は、道路運送車両法の保安基準を充たし、違法運転を心掛けて下さい。（138cc除く。）
（道路運送車両法の保安基準を充たさない車両で公道を走行すると、違反となり運転者が罰せられます。）
- 作業を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行ってください。35℃以下。（火傷の原因となります。）
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品破損、ケガの原因となります。）
- 製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、十分注意して作業を行ってください。（ケガの原因となります。）
- ガasket、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。（部品の摩耗や損傷等で、エンジントラブルの原因となります。）

⚠ 警告

この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡したり、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 技術、知識の無い方は、作業を行わないで下さい。（技術、知識不足による作業ミスで、部品破損により、事故につながる恐れがあります。）
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ、安全に作業を行ってください。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉したような場所ではエンジンを始動しないで下さい。（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
- ガソリンは非常に引火しやすい為、一切の火気を避け、燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。（火災の原因となる恐れがあります。）
- 規定トルクは必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。（ボルト及びナットの破損、脱落等で事故につながる恐れがあります。）
- 指示部品以外の部品の使用は、一切行わないで下さい。（部品破損により、事故につながる恐れがあります。）
- 点検、整備を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け、損傷部品の交換を行ってください。（そのまま使用すると、部品破損により事故につながる恐れがあります。）
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
- 走行前は必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みの有無を確認し、緩みがあれば規定トルクで増し締めを行ってください。（部品脱落等で、事故につながる恐れがあります。）
- 点検、整備は取扱説明書、または、サービスマニュアル等の点検方法要領を守り、正しく行って下さい。（不適当な、点検整備は事故につながる恐れがあります。）
- 燃料は必ずハイオクタン価ガソリンを使用して下さい。（ノッキング等のトラブルで事故につながる恐れがあります。）

適応仕様データ表

フロントフォークと使用タイヤの関係 100cc/106cc/124cc

使用タイヤ	3.50-8	3.50-10	3.00-10	80/90-10	90/90-10	100/90-10
STD(ノーマル) フォーク	(X)					
φ27正立フォーク (ボトムケース色ゴールド) (弊社製)	○	(X)	○	○	(X)	(X)
φ27正立フォーク (ボトムケース色シルバー) (弊社製)	○	○	○	○	○	○
φ27正立フォーク 8インチ用 (タイプ1) (弊社製)	100/106 124 ○ (X)					
φ27正立フォーク 8インチ用 (ツーピース) (弊社製)	100/106 124 ○ (X)					
φ27正立フォーク 10インチ用 (ツーピース) (弊社製)	○	X	○	○	X	X
φ30正立フォーク (弊社製)		○	○	○	○	○

フロントフォークと使用タイヤの関係 138cc

使用タイヤ	3.50-8	3.50-10	3.00-10	80/90-10	90/90-10	100/90-10
STD(ノーマル) フォーク	X					
φ27正立フォーク (ボトムケース色ゴールド) (弊社製)	○	(X)	X	X	X	X
φ27正立フォーク (ボトムケース色シルバー) (弊社製)	○	○	○	○	○	○
φ27正立フォーク 8インチ用 (タイプ1) (弊社製)	X					
φ27正立フォーク 8インチ用 (ツーピース) (弊社製)	X					
φ27正立フォーク 10インチ用 (ツーピース) (弊社製)	○	X	○	○	X	X
φ30正立フォーク (弊社製)		(X)	○	○	(X)	(X)
φ30正立フォーク 06-02-0015 トップブリッジ&ステアリングステムキット取り付け時 (弊社製)		○	○	○	○	○

(X) は P. A 6 を参考にする事。

オイルクーラー関係

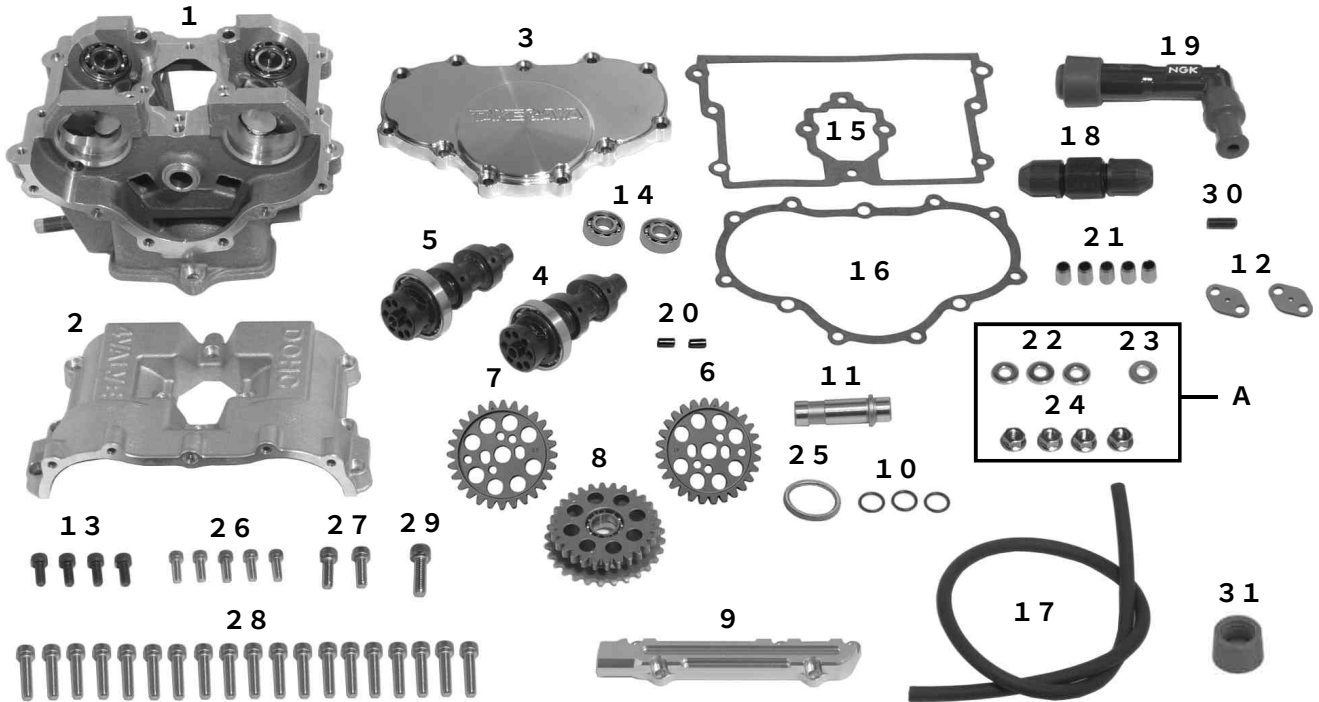
従来のフレームに取り付ける仕様は取り付け不可となります。

クラッチカバーよりオイルを取り出し、弊社製ステアリングシステムを利用してフォーク前方ヘッドライト下にオイルクーラーを取り付けるキットを利用して下さい。

エンジン適応仕様

		品番	備考	
クランクシャフト		01-10-0115	「ボア&ストロークアップ参照表」に従い購入して下さい。 (フルキット時除く)	
		01-10-8042		
		01-10-8042T		
		01-10-0092		
キャブレター	ケーヒン PE28 	03-05-097	ハイスロットルが必要になります。	
	ミクニ VM26 	03-05-0472		
クラッチ	スペシャルクラッチ 乾式 			
	スペシャルクラッチ 湿式 			
オイルポンプ	スーパーオイルポンプ 	01-16-0053		
点火系	SSローターキット 	05-02-0018		
	STD.ジェネレーター + 弊社製ハイパーC.D.I. 	05-03-0003		
	弊社製C.D.I.マグネットキット 	05-02-0512	競技専用。充電機能無し	
カムチェーン		01-14-0003	「ボア&ストロークアップ参照表」に従い購入して下さい。 (フルキット時除く)	
		01-14-0002		
		01-14-0006		
マフラー	マフラーモデル	エキゾーストパイプ (DOHC用)	サイレンサーASSY.	ステーセット
	ボンバー 	04-02-0413	04-02-0414	04-02-0412
	ボンバー (ステージ2) 	04-02-2503	04-02-2691	04-02-2692
	ボンバー (ステージ2) 	04-02-2503		
	Racing マフラー (10R)	04-01-0029 (フルセット)		

～商 品 内 容～



番号	部 品 名	個数	リペア品番	入数
1	シリンダーヘッド SUB-ASSY.	1	D4/H-2SM-T201 (・バルブリフター ・タペットシム)レス	1
2	シリンダーヘッドカバー	1	00-01-1009 (ガスケット付)	1
3	シリンダーヘッドLサイドカバー	1	01-03-001 (ガスケット付)	1
4	カムシャフトCOMP. 25D (インテーク)	1	14100-D4H-T31	1
5	カムシャフトCOMP. 30D (エキゾースト)	1	14200-D4H-T41	1
*4	カムシャフトCOMP. 15D (インテーク)	1	*14100-D4H-T13	1
*5	カムシャフトCOMP. 15D (エキゾースト)	1	*14200-D4H-T12	1
●4	カムシャフトCOMP. 10D (インテーク)	1	●14100-D4H-T03	1
●5	カムシャフトCOMP. 10D (エキゾースト)	1	●14200-D4H-T03	1
▲4	カムシャフトCOMP. 25D (インテーク)	1	▲14100-D4H-T31	1
▲5	カムシャフトCOMP. 25D (エキゾースト)	1	▲14100-D4H-T31	1
6	カムギヤ (インテーク)	1	14321-D4H-T01	1
7	カムギヤ (エキゾースト)	1	14322-D4H-T01	1
8	センターカムギヤCOMP.	1	14320-D4H-T00	1
9	オイルブリッジCOMP.	1	12334-D4H-T00	1
10	Oリング 10mm	3	00-01-1010	3
11	アイドルギヤシャフト	1	14341-D4H-T00	1
12	カムギヤワッシャ	2	00-01-0022	1
13	ソケットキャップスクリュー 5×12	4		2
14	ボールベアリング 6001Z	2	00-01-1011	1
15	シリンダーヘッドカバーガスケット	1	12491-D4H-T00	1
16	シリンダーヘッドサイドカバーガスケット	1	12391-D4H-T00	1
17	ハイテンションコード	1		
18	プラグコードジョイント	1	00-01-1012	1
19	プラグキャップ	1	00-01-1013	1
20	平行ピン 4mm	2	00-01-1014	4
21	ノックピン 7×10mm	5	00-01-1015	2
22	シーリングワッシャ	3		
23	シーリングワッシャ A	1	00-01-0029	4
24	フランジナット M6	4	00-00-0133	6
25	エキゾーストパイプガスケット	1	00-01-0064	2
26	ソケットキャップスクリュー 4×12	5	00-00-0243	6
27	ソケットキャップスクリュー 5×15	2	00-00-0041	4
28	ソケットキャップスクリュー 5×22	19	00-00-0244	4
29	ソケットキャップスクリュー 6×20	1	00-00-0245	4
30	ソケットセットスクリュー 6×15	1	00-00-0246	4
31	プラグキャップラバー	1	30701-D4H-T00	1
	アルミスペシャル (5g)	1	00-01-0001	1
	Lレンチ 3mm	1		

番号	部 品 名	リペア品番
A	シリンダーヘッドナットセット	00-01-0028

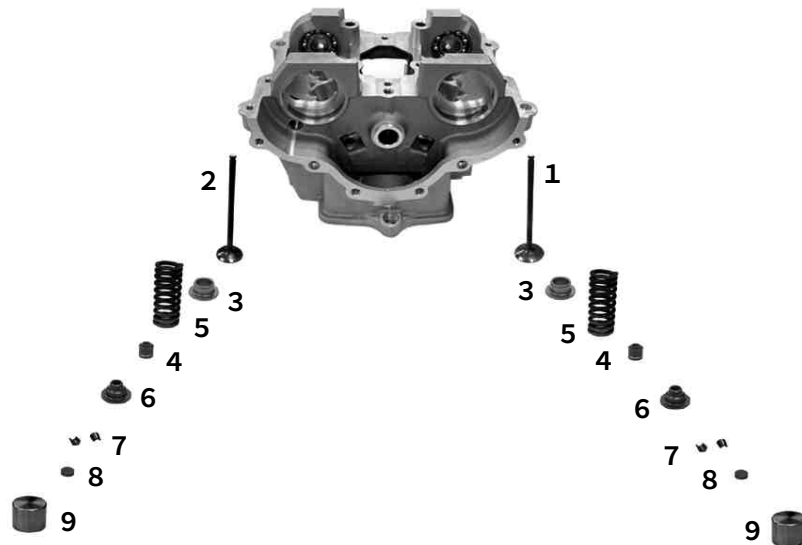
*マークは01-03-6023、●マークは01-03-6024、▲マークは01-03-6025の構成パーツです。

※カムシャフトはキット付属品以外にもオプション品の設定があります。本取扱説明書末尾のボア&ストロークアップ参照表内をご参照下さい。

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。

尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

シリンダーヘッド インナーパーツ



番号	部 品 名	個数	リペア品番	入 数
1	インテークバルブ	2	14711-D4H-T50	1
2	エキゾーストバルブ	2	14721-D4H-T50	1
3	バルブスプリングシート	4	00-01-1016	1
4	バルブガイドステムシール	4	00-01-1017	4
5	バルブスプリング	4	14751-D4H-T10	1
6	バルブスプリングリテーナー	4	00-01-1018	1
7	バルブコッター	8	00-01-1019	8
8	タペットシム	4		
9	バルブリフター	4	00-01-1020	1

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。
 尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。
 注) インテークバルブ及びエキゾーストバルブを注文時、シリンダーヘッドNo.が必要となります。

シリンダーヘッド オプション部品

●オプションカムシャフト

・本キットに使用出来るカムシャフトを用意しております。
 キットには各排気量に適したカムシャフトを同梱しておりますが、仕様用途により出力特性を変えることも出来ます。

	D10/10	01-08-070	01-03-6012 同梱品
	D15/15	01-08-071	01-03-6009 同梱品
	D25/30	01-08-072	01-03-6008 同梱品
	D25/25	01-08-0013	01-03-6105 同梱品
	D30/30	01-08-0014	オプション

○カムシャフトの名称について

○○/○○の数字が大きいカムシャフトほど作用角が広く、高回転域で高い出力を発揮し、低中速回転域で出力が抑えられます。

逆に数字が小さいカムシャフトほど作用角が狭く、高回転域での出力が抑えられ、低中速回転域で高い出力を発揮するように、出力特性が移行します。

弊社では排気量別に適正なカムシャフトを付属させていますが、オプションカムシャフトを購入される際は、カムシャフトデータ表を参考にし、使用目的に見合ったカムシャフトを選択して下さい。

また、エンジン出力は、使用するマフラー、インレットパイプ長、キャブレター径、圧縮比、点火装置、点火時期、オクタン価などや、気温、気圧といった自然現象により、大きく変化しますのでご注意下さい。

●チタンリテーナー&バルブスプリング



- ・チタン合金リテーナー採用。スチール製に比べ約30%軽量を実現。
- ・より高回転域でのバルブ追従性を向上させた新設計バルブスプリング。

チタンリテーナー&バルブスプリングセット (各4個入)	01-12-0108
-----------------------------	------------

シリンダーヘッド リペア用部品

●リペア用オーバーサイズバルブガイド

バルブガイド DOHC オーバーサイズ (2個入)	00-01-1021
---------------------------	------------

※上記品番は部品のみです。

シリンダーヘッド修整加工

シリンダーヘッド修整につきましては、内燃機関専門店にご依頼下さい。依頼先等が見つからない場合は、シリアルNo.をご確認の上、弊社までお問合せ下さい。

シリアルNo.456以降のDOHCヘッドは、弊社でもバルブガイド・シートカットの修整を受け賜っております。

●バルブガイド交換・シートカット作業

インテーク・エキゾースト両方 (4箇所)	00-00-045
インテーク側のみ (2箇所)	00-00-042
エキゾースト側のみ (2箇所)	00-00-046

※上記品番には、必要数量のバルブガイドが含まれています。

※シリンダーヘッド損傷状況等により、修整出来ない場合があります。予めご了承下さい。

○フロントフォークとタイヤとの関係

○φ27正立フロントフォーク(ボトムケース色:ゴールド)

- ☆10インチタイヤ使用の場合、フォーク先端いっぱいでクランプして下さい。
- トップボルトを除くインナーチューブ先端でフォークをクランプします。

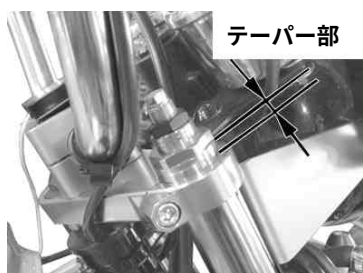


- ☆フロントフォークと使用タイヤのデーター表で(X)のタイヤの場合、シリンダーヘッドとタイヤが干渉する場合があります。
- 使用前に必ずフルボトム時で干渉が無いかを確認します。
- 干渉する場合、ハイトの低いタイヤに変更して下さい。



○φ30正立フロントフォーク／φ27正立フロントフォーク(ボトムケース色:シルバー)／φ27正立フロントフォーク(ツーピース)

- ☆フォーク先端いっぱいでクランプして下さい。
- フォークインナーチューブ先端のテーパー部を避けて、ストレート部の先端でクランプします。
- ※フルボトム時に干渉が無いかを確認してから使用して下さい。



- ☆フロントフォークと使用タイヤのデーター表で(X)のタイヤの場合、シリンダーヘッドとタイヤが干渉する場合があります。
- 使用前に必ずフルボトム時で干渉が無いかを確認します。
- 干渉する場合、ハイトの低いタイヤに変更して下さい。

⚠ 警告

ヘルメットを正しく着用していないと、万一の事故の際、死亡または重大な傷害に至る可能性が高くなります。

運転者は乗車時、必ずヘルメット、保護具および保護性の高い服を着用して下さい。

○注意事項

☆使用回転数上限について

- 使用限界回転数は使用されるカムシャフト等で異なります。エンジン回転計を取り付け、必ず最大出力回転数以下でご使用下さい。
- 特に、空ぶかし時や1速ギア、2速ギアでの急加速時は使用限界回転数に入りやすいのでご注意ください。使用限界回転数以上でご使用されますと、エンジン回転が不円滑になり、エンジン寿命に悪影響を及ぼすだけでなく、最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。

☆エンジンオイルについて

- エンジンオイルの交換時期のサイクルをはやめて下さい。また、グレードの高いエンジンオイルをお勧めします。(交換を怠ると、エンジンに悪影響を与えるだけでなく、最悪の場合、エンジンが破損します。)

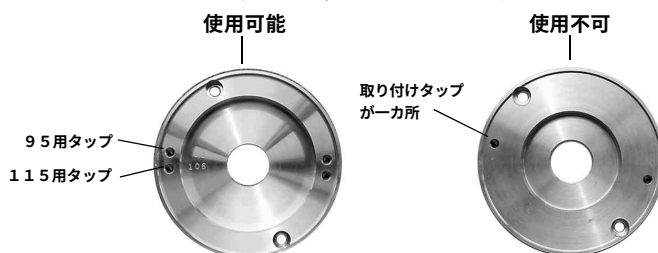
☆キャブレターについて

- エアファンネル、エアフィルター等や、仕様、気圧、温度等でセッティングは変化します。必ずセッティングを合わせて下さい。(空燃比が合っていないと最悪の場合、エンジンが破損します。)

☆点火系について

- 点火系については、弊社製及びSTDのみが使用可能であり、他メーカーのCDI等は弊社ではそのデーターがありませんので使用しないで下さい。また、弊社製でも使用不可能な製品もありますのでご注意ください。

・インナーローターCDIについて



☆燃料について

- 燃料は、必ずハイオクタン価ガソリンを使用して下さい。

☆オーバーホールについて

- 特に何kmでという指定はありませんが、出来るだけ時期を早め部品の損傷が無いかを確認して下さい。

◎性能、デザイン、価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

◎指示している部品以外との組み合わせによるトラブルの保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

◎この取扱説明書は、本製品を破棄されるまで保管下さいませお願い致します。

株式会社 **SPECIAL PARTS** 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721-25-1357

FAX 0721-24-5059

お問い合わせ専用ダイヤル 0721-25-8857

URL <http://www.takegawa.co.jp>

～取 り 付 け 要 領～

⚠ 注意：トルクレンチは必ず用意し、規定トルクを守り作業を行って下さい。

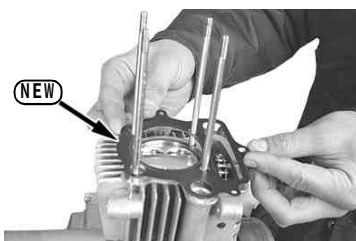
⚠ 警告：この取り付け要領は基本的な技能や知識を持った人を対象としておりますので、技術、知識の無い方は作業を行わないで下さい。

⚠ 警告：ピストンピンサークリップは再度使用しない事。

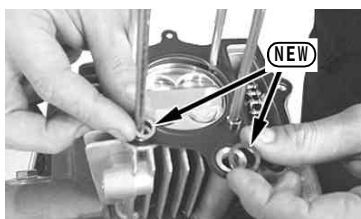
- S E T 内容を確認します。
- 必要な工具を用意します。
- ピストンシリンダー S E T の取り付け要領を参考にし、シリンダーを取り付けます。
- シリンダー上面をよく脱脂します。
- シリンダーにピストンシリンダー S E T 内のノックピン 8 × 1 4 をノックピン穴に差し込みます。



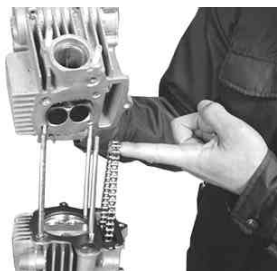
- シリンダーにピストンシリンダー S E T 内のシリンダーヘッドガスケットを取り付けます。



※お使いのシリンダーが旧φ54Hシリンダー（アルミ製、鉄スリーブでサーモセンサー取り付け部が無いシリンダー）の場合は、シリンダー上面のオイルライン部にラバーパッキン（グリーン・ブラック）を取り付けます。（φ54HAシリンダー／φ57スカットシリンダーの場合は、ラバーパッキンはありません。）



- ピストンを上死点に合わせて、シリンダーヘッドを取り付けます。

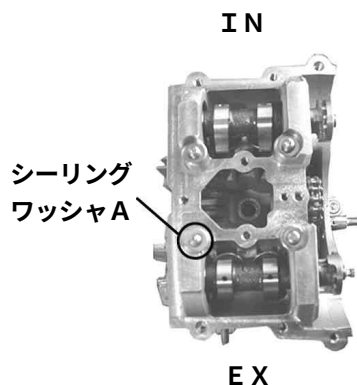


- カムチェーンがクランクケース内に落ちない様に固定しておきます。

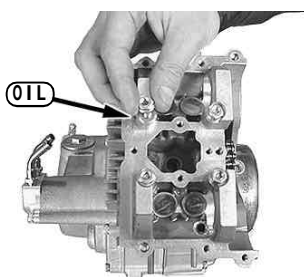


- キット内の新品のシーリングワッシャ A（銅製）とシーリングワッシャを取り付けます。

⚠ 注意：シーリングワッシャ A の位置を間違わない事。

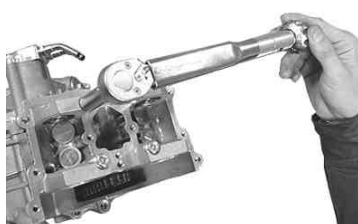


- キット内のフランジナット M 6 の座面に、エンジンオイルを塗布し、取り付ける。



- シリンダーヘッドを対角に 2 ～ 3 回に分けて規定トルクで取り付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：12 N・m (1.2 kgf・m)

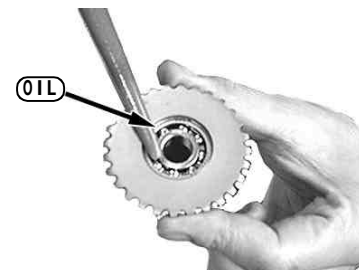


- オリジナルのシリンダーサイドボルトを規定トルクで締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：12 N・m (1.2 kgf・m)

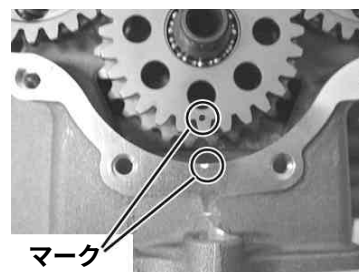


- キット内のセンターカムギア COMP. のベアリング部にエンジンオイルを塗布します。



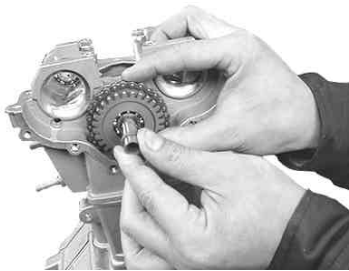
○ シリンダーヘッドの切り欠き部と、センターカムギア COMP. の合わせマーク（小さいマーク）を合わせて、カムチェーンをスプロケット部に取り付け、センターカムギア COMP. をアイドルギアシャフトを用いて取り付けます。この時、フライホイールの“T”マークをクランクケースの合わせマークに合わせた時、センターカムギア COMP. の合わせマークが合うようにします。

⚠ 注意：センターカムギア COMP. の合わせマークを間違わない事。



合わせる

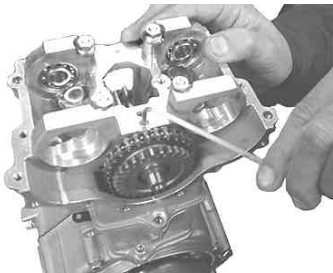
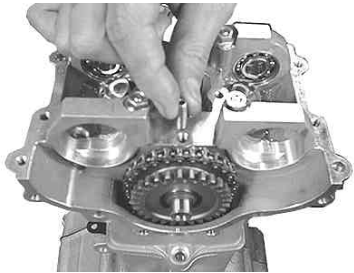




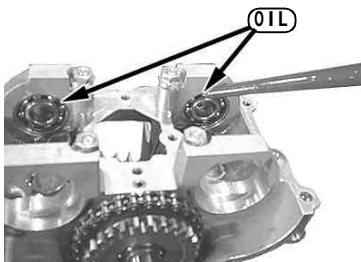
○キット内のソケットセットスクリュー6×15を用いて、アイドルギアシャフトを固定し、締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

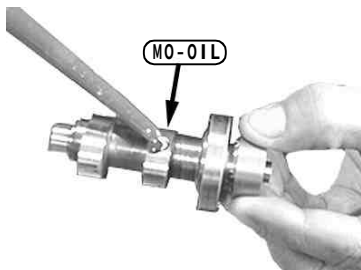
トルク：8 N・m (0.8 kgf・m)



○シリンダーヘッド、カムホルダー部のベアリングに、エンジンオイルを塗布します。



○カムシャフトのスリッパ部にエンジンオイル又は二硫化モリブデン溶液を塗布します。

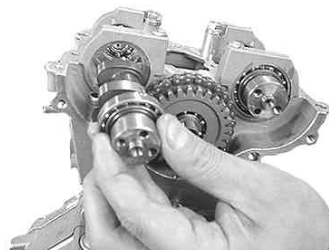


☆このキットは予めシリンダーヘッドにカムシャフトがセットしております。現状セットされている状態でバルブクリアランスを調整しております。元々セットしていた位置から変更すると（IN、EXを入れ替えた場合）バルブクリアランスが変わります。必ずセットしていた位置にセットして下さい。

○インテーク、エキゾーストそれぞれのカムシャフトCOMP.をシリンダーヘッドに取り付けます。

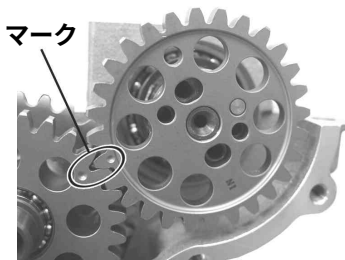
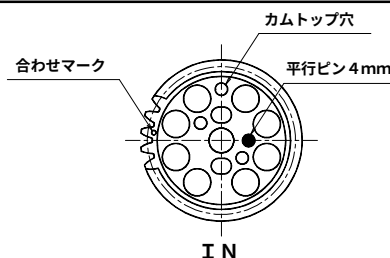
○01-03-6022：IN側とEX側のカムシャフトの種類が異なるタイプはIN、EXのカムシャフトCOMP.を間違わない事。

☆カムシャフトに浮き出文字でIN、EXマークがあるか、カム山に打刻しているカム種類を確認する。

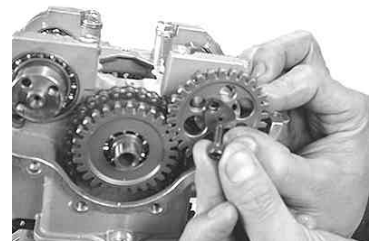


○キット内のインテークカムギア（INマーク）の合わせマークと、センターカムギアCOMP.の合わせマークを合わせ、カムギアのトップ穴に（図参考）カムトップを合わせ、キット内の平行ピン4mmを下記のタイミング位置に合わせ差し込みキット内のカムギアワッシャ、ソケットキャップスクリュー5×12を用いて取り付けます。

△注意：合わせマークを必ず合わせる事。

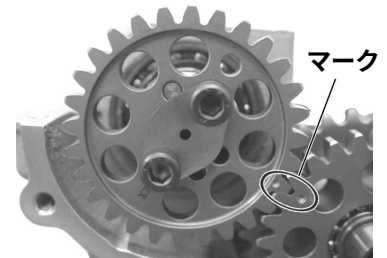
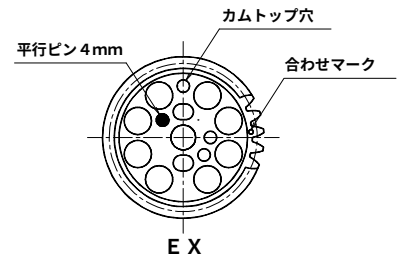


△注意：平行ピンの位置を間違わない事。



○エキゾーストカムギア（EXマーク）もインテークと同じ様に、下記のタイミング位置に合わせ取り付けます。

△注意：合わせマークを必ず合わせる事。



△注意：平行ピンの位置を間違わない事。

○クランクを固定し、カムギアを固定しているソケットキャップスクリューを規定トルクで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

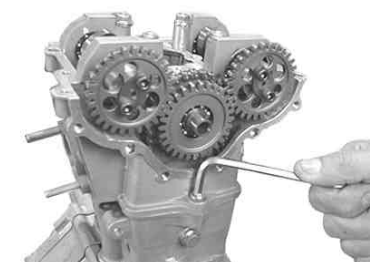
トルク：10 N・m (1.0 kgf・m)



○シリンダーヘッドサイドにキット内のソケットキャップスクリュー6×20を取り付け、締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

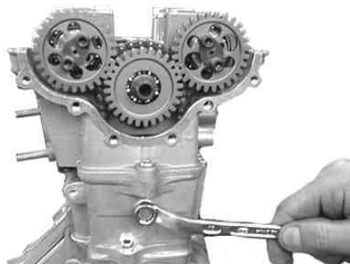
トルク：12 N・m (1.2 kgf・m)



○シリンダーのカムチェーンガイドローラーボルトを規定トルクまで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

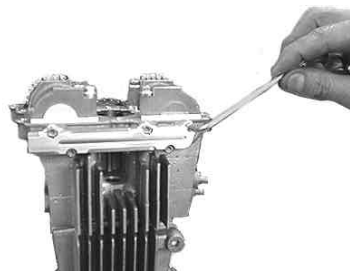
トルク：10 N・m (1.0 kg f・m)



○キット内のオイルブリッジCOMP.の溝にOリング10mmを取り付け、Oリング部にエンジンオイルを塗布し、キット内のソケットキャップスクリュー4×12を用いてシリンダーヘッドに取り付け、締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

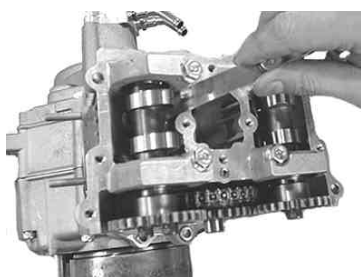
トルク：4 N・m (0.4 kg f・m)



○シクネスゲージでバルブクリアランスを確認します。

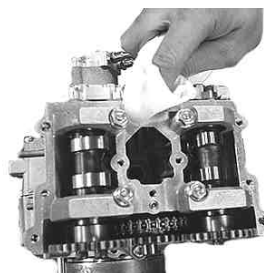
△シクネスゲージにごみ等の付着が無い事。

IN/EX 0.15 ± 0.02 mm

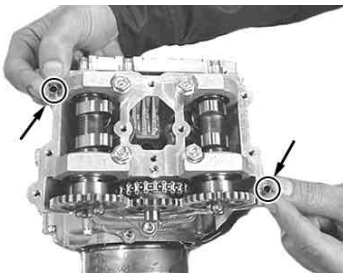


○バルブリフタ及びカムシャフトの摺動部にオイルを塗布します。

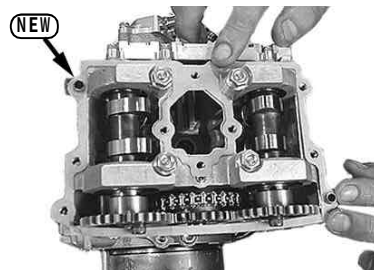
○シリンダーヘッドのヘッドカバー取り付け面をきれいに脱脂します。



○キット内のノックピン7×10をノック穴に差し込みます。

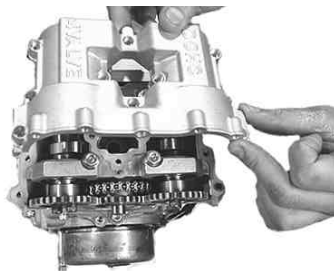


○シリンダーヘッドカバーガasketを取り付けます。



○シリンダーヘッドカバーガasketの不要部を切り取ります。

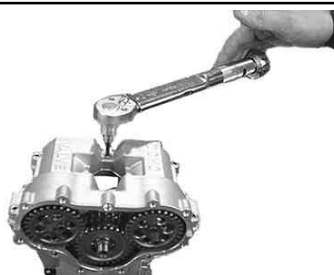
○シリンダーヘッドカバーをシリンダーヘッドに取り付けます。



○シリンダーヘッドカバーをソケットキャップスクリュー5×22のネジ部に少量のアルミスペシャルを塗布し、内側から対角に2～3回に分けて規定トルクで締め付けます。

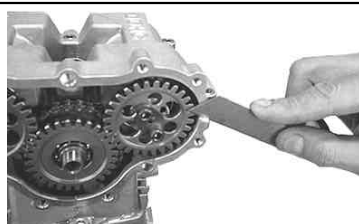
△注意：必ず規定トルクを守る事。

トルク：6 N・m (0.6 kg f・m)

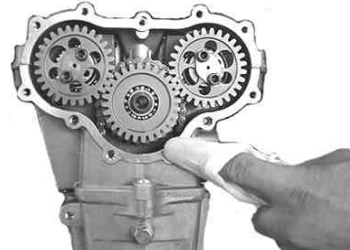


○シリンダーヘッドサイドからはみ出したガasketをカッターナイフ等で切り取り、平らにします。

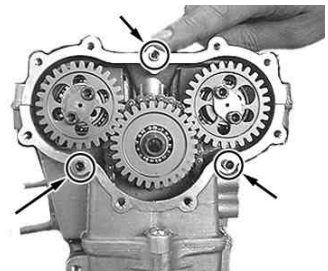
△注意：キズを付けない事。



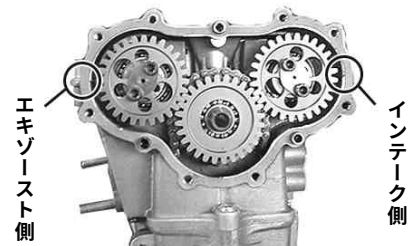
○サイドカバー取り付け面をきれいに脱脂します。



○サイドカバー取り付け面ノック穴にノックピン7×10を差し込みます。



○シリンダーヘッドカバーとシリンダーヘッドの合わせ面に取り付けたシリンダーヘッドカバーガasket部のインテーク側及びエキゾースト側に液体ガasketを、薄く塗布しシリンダーヘッドサイドカバーガasketを取り付けます。



○シリンダーヘッドL.サイドカバーをシリンダーヘッドにソケットキャップスクリュー5×22 9本、5×15 2本を用いて取り付けます。(図参考)

△スクリーネジ部に少量のアルミスペシャルを塗布します。

△注意：ネジの取り付け位置を間違わない事。



○ソケットキャップスクリューをそれぞれ対角に2～3回に分け、規定トルクまで締め付けます。

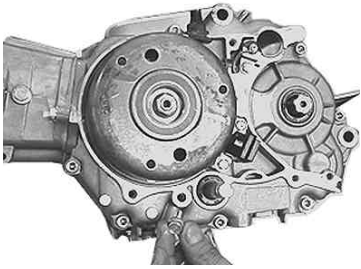
△注意：必ず規定トルクを守る事。

トルク：6 N・m (0.6 kg f・m)



- カムチェーンテンショナー部のサイドボルトを締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：10 N・m (1.0 kg f・m)

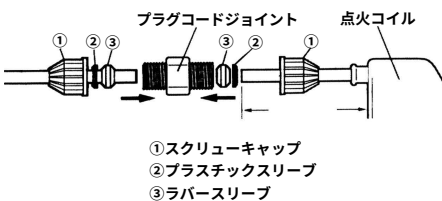


- エンジンに付着したオイル及び汚れをきれいに拭き取ります。
- エンジンCOMP.をフレームに取り付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：25 N・m (2.5 kg f・m)



- イグニッションコイルのケーブルの延長をします。
コードをイグニッションコイルから約10 cmの位置で切断します。キット内ハイテンションコードを、取り回しを決めた寸法で切断し、キット内のプラグコードジョイントを使用して、下図の様に接続します。



- キット内のプラグキャップを延長したハイテンションコードに取り付け、プラグキャップラバーをキット付属品に交換します。

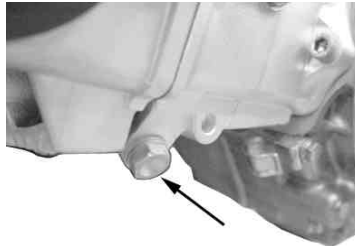


- キャブレターキットの取り付け要領に従い、キャブレターを取り付けます。

●138ccの場合のみ

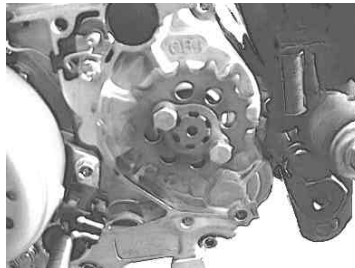
シリンダーキット同梱のアルミシーリングワッシャ、オイルプラグボルトを取り付け、規定トルクで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：14 N・m (1.4 kg f・m)



- ドライブsprocketを取り付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：12 N・m (1.2 kg f・m)



- ジェネレーターカバーを取り付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：7～11 N・m (0.7～1.1 kg f・m)

- ☆3 Bクランクの場合は、クランクシャフトキットの取り付け要領に従い、ジェネレーターカバーを取り付けます。



- エキゾーストマフラーの取り付け要領に従って、エキゾーストマフラーを取り付けます。
- エンジンオイルを使用するクラッチキットの指示している量まで入れます。
- リアスイングアーム説明書及びサービスマニュアルを参考にドライブチェーンを取り付けます。

☆エンジン始動

- イグニッションキー、ガスコックがOFFになっているのを確認します。
- しばらくキックをし、エンジン各部にエンジンオイルを十分に行きわたせます。
- スパークプラグネジ部に少量のアルミスペシャルを塗布し、スパークプラグを取り付けます。

△注意：プラグの種類を間違わない事。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

NGK: ER8EH

↑熱価
デンソー: Y24FERC
↑熱価

△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：8～10 N・m (0.8～1.0 kg f・m)



△注意：プラグの焼け具合により、熱価を設定する事。

- スパークプラグを取り付け、ガソリンコック、イグニッションキーをONにし、エンジンを始動させます。

△注意：必ず規定トルクを守る事

△警告：必ず換気のよい場所で行う事

- 異音など異常が無いか確認します。
- 異常が無ければ100 km～150 km位までは慣らし運転を行います。
- 慣らし運転終了後、異音やブローパイなど異常が無いかを確認します。
(異常がある場合は、再度エンジンを分解し、各部を点検する。)

△警告：ピストンピンサークリップは再度使用しない事。

△注意

- エンジン組み付け時、規定トルクで締め付けているボルトやナットもエンジンが温まり熱膨張を繰り返すと少しずつ緩んでくる場合がありますので、定期的に各ボルト、ナット類を増し締めして下さい。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

◆必ず回転計を取り付けて下さい。

☆使用回転数上限について

- 使用限界回転数は使用されるカムシャフト等で異なります。エンジン回転計を取り付け、必ず最大出力回転数以下でご使用下さい。
- 特に、空ぶかし時や1速ギア、2速ギアでの急加速時は使用限界回転数に入りやすいのでご注意下さい。使用限界回転数以上でご使用されますと、エンジン回転が不円滑になり、エンジン寿命に悪影響を及ぼすだけでなく、最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。

インスペクション／マニュアル

⚠ 警告

このシリンダーヘッドマニュアルは基本的な技能や知識を持った人を対象としておりますので、技術、知識の無い方は作業を行わないで下さい。

- 部品及びシリンダーヘッドは、分解後、点検、測定の前に洗浄した後、圧縮空気で吹き、良く乾かす。
- カムシャフトを潤滑するエンジンオイルは、シリンダーヘッドのオイル通路を通して供給される、シリンダーヘッド組立前にオイル通路を清掃しておく。
- 部品は、分解後取り外した場所がわかる様マーキングしておき、必ず元の位置に取り付けること。

整備諸元表

項目			標準	使用限度
バルブクリアランス	I N / E X		※0.15±0.02mm (冷間時)	—
シリンダーヘッド歪み			—	0.05mm
バルブリフト	ボア内径	I N / E X	—	20.035mm
	リフト外径	I N / E X	19.978 ~ 19.993mm	19.970mm
バルブガイド	内径	I N / E X	—	3.89mm
バルブステム	外径	I N	—	3.7mm
		E X	—	3.7mm
ステムとガイドの隙間		I N	0.010 ~ 0.037mm	0.04mm
		E X	0.020 ~ 0.047mm	0.05mm
バルブシート当たり幅		I N	0.8 ~ 1.0mm	1.5mm
		E X	0.9 ~ 1.1mm	1.5mm
バルブスプリング自由長	I N / E X		—	37.5mm

※オプションカムの場合は、オプションカムの説明書に従う事。

※オプションスプリングの場合は、オプションスプリングの説明書に従うこと。

○専用工具:バルブスプリングコンプレッサー S E T 品番 0 0 - 0 1 - 1 0 0 5

○トルクの単位記述

1 k g f ・ m = 9 . 8 0 6 6 5 N ・ m (ニュートンメートル)

○モリブデン溶液→マーク (M O - O I L)

モリブデングリースとエンジンオイル1:1の割合で混合して作る。

∴モリブデン溶液塗布指示部には、モリブデン溶液、又は、アッセンブリーペーストを塗布すること。

○オーバーホール毎交換品→マーク (N E W)

分解毎に新品と交換する必要がある部品を示すので、必ず交換すること。

○アルミスベシヤル(耐熱潤滑ペースト)→マーク (A L - S P L)

・アルミスベシヤル=耐熱潤滑ペースト、高温、重荷重のカジリ、溶着を防止するグリース。(用途、スパークプラグ、エキゾーストマニホールド等高温部に効果的)

☆指示無き部分には塗布しないこと。

インスペクション／マニュアル

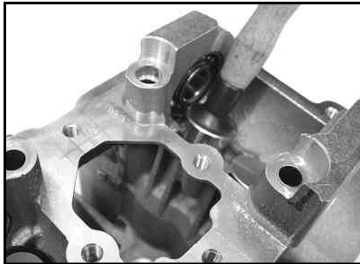
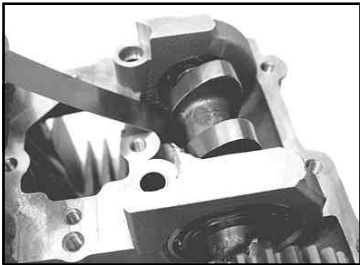
○バルブクリアランス調整

(バルブシートカット修正及びバルブ、カムシャフト、バルブリフタを交換した場合は、バルブクリアランスの調整を行う。)

◎カムシャフトとバルブリフタの間にシクネスゲージを入れ、クリアランスを測定する。
(オプションカムシャフトの場合は、オプションカムの説明書に従う。)

◎カムシャフトを取り外し、バルブリフタ、シムを取り外す。

- ・バルブリフタを取り外すには、バルブたこ、またはバルブラッパを使用して取り外す。
- ・シムが外れにくい時は、ピンセットまたは、磁石を使用して取り外す。
- ・取り外したリフタとシムは取り付け位置別に区別して保管する事。
- ・バルブリフタは、必ず元の位置に取り付ける事。



◎新しいシムの寸法を求める。

- ・シムに付着したオイルを拭き取り、マイクロメーターでシムの厚さを測定し、記録する。

- A：求めるシムの厚さ
- B：測定したバルブクリアランス
- C：規定のバルブクリアランス
- D：取り外したシムの厚さ

$$A = (B - C) + D$$



◎シムは1.20mmから0.025mm間隔で2.9mmまで設定されている。

☆シムは、弊社でも用意していますが、ホンダ純正シムが使用出来ますので、ホンダ純正シムを使用しても問題ありません。
ホンダ純正品番は、別紙を参考にして下さい。

*新しいシムは、必ずマイクロメーターを使用して正確に測定し、確認する事。

1.80 mm	1.825 mm	1.85 mm	1.875 mm
ホンダ純正シム			

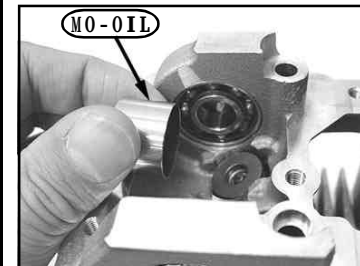
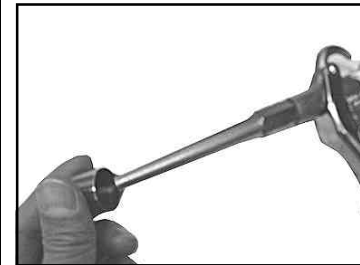
○バルブリフタ取り付け

- 新しいシムを、バルブスプリングリテーナーに取り付ける。
- バルブリフターをきれいにオイルを吹いて、バルブリフタのシム取り付け部をエアブローし清掃する。
- バルブリフタの摺動面に二硫化モリブデン溶液を塗布し、取り付けする。

△注意：リフタは必ず元の位置に取り付ける事。

○カムシャフトを取り付け、シクネスゲージでバルブクリアランスを確認する。

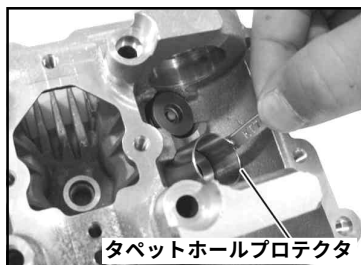
例 (0.15が入り、0.18が入らなければOK。)



インスペクション／マニュアル

○バルブの分解

- バルブリフト、シムを取り外す。
(各部品は取り外した位置が分かる様に区別して保管する。)
- バルブリフターボアにタペットホールプロテクタを取り付ける。
∴タペットホールプロテクタ：ホンダ専用工具
ホンダ製 品番 07GME-KT70100



- バルブスプリングコンプレッサーを使用してバルブスプリングを圧縮する。

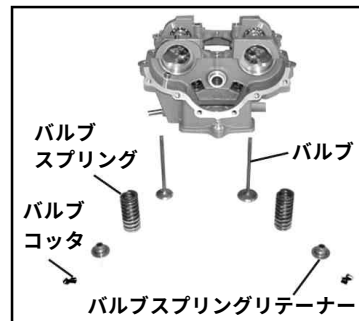
△注意：必要以上にバルブスプリングを圧縮しない事。

- ∴バルブスプリングコンプレッサー：専用工具
武川製 品番 00-01-1005



- バルブコッタを取り外す。

- バルブスプリングコンプレッサーを外し、以下の商品を取り外す。
 - ・バルブスプリングリテーナー
 - ・バルブスプリング
 - ・バルブ

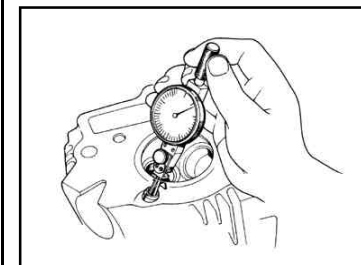


- 各バルブの曲がり、焼き付き、損傷を点検する。
 - ・バルブステム外径をガイド摺動面でマイクロメーターで測定する。
(曲がり、キズ、損傷のある物は交換する。)



○バルブガイドを点検する。

- ・バルブガイド内径を測定する。
使用限度 IN：3.89mm EX：3.89mm
- ・キズ、損傷のある物はバルブガイド交換又は、シリンダーヘッドを交換する。



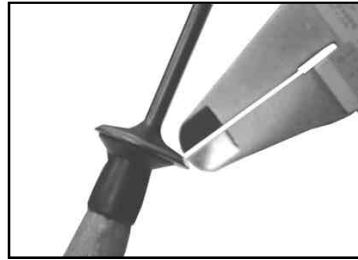
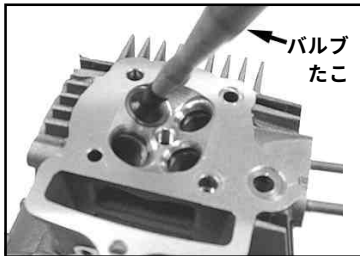
各バルブガイド内径からバルブステム外径引いた値がガイド隙間である。

使用限度 IN：0.04mm EX：0.05mm

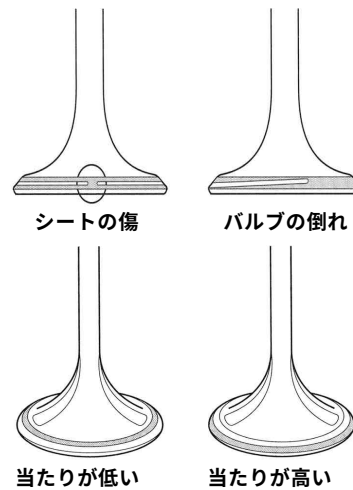
インスペクション／マニュアル

○バルブシートの点検

- シリンダーヘッド燃焼室及びバルブのカーボン堆積物を取り除く。
- バルブフェースに光明丹をオイル等で溶かし、均一に薄く塗布する。
- バルブたこを使用して、バルブを軽く一回打ち、回転させる。
- バルブフェースに付着した光明丹を拭き取り、バルブたこを使用して、バルブを回さずに軽く一回打ち、当たり面を確認する。
- バルブを取り外し、バルブフェース面の光明丹の付着具合でシートの当たり面の状態を判断する。
- バルブシートの当たり幅を点検する。
使用限度：IN／EX 1.5mm



☆バルブシートに傷、当たり幅が不均一、広すぎる、狭すぎる場合は、バルブシートを修整する。



☆修整は内燃機関専門家に依頼して下さい。
依頼先等が見つからない場合は、シリアルNo.をご確認の上、弊社までお問合せ下さい。
シリアルNo.456以降のDOHCヘッドは、弊社でもバルブガイド・シートカットの修整を受け賜っております。

インテーク・エキゾースト両方（4箇所）	00-00-045
インテーク側のみ（2箇所）	00-00-042
エキゾースト側のみ（2箇所）	00-00-046

※上記品番には、必要数量のバルブガイドが含まれています。
※シリンダーヘッド損傷状況等により、修整出来ない場合があります。
予めご了承下さい。

○バルブリフタの点検

- バルブリフタの傷、損傷を点検する。
（傷、損傷のある物は交換する。）

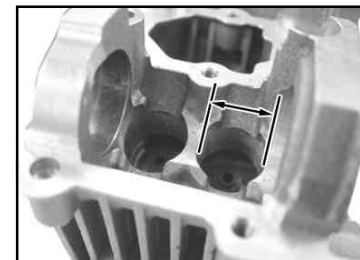


- バルブリフタの外径を測定する。



使用限度：19.97mm

- バルブリフタボアの内径を測定する。

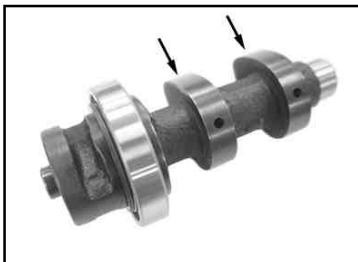


使用限度：20.035mm

インスペクション／マニュアル

○カムシャフトの点検

○カムシャフトの傷、ひび割れ、損傷を点検する。



○各カム山の高さを測定する。



カムシャフト種類	I N	E X	
1 0 Dカムシャフト	2 9 . 6 3 以下	2 9 . 6 3 以下	交換
1 5 Dカムシャフト	2 9 . 6 3 以下	2 9 . 6 3 以下	交換
2 5 Dカムシャフト	2 9 . 6 3 以下	2 9 . 6 3 以下	交換
3 0 Dカムシャフト	2 9 . 6 3 以下	2 9 . 6 3 以下	交換

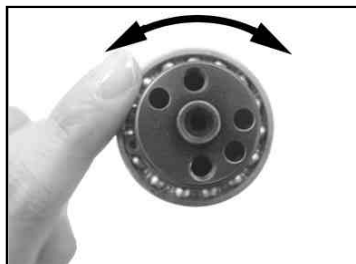
○カムシャフトの種類は、カム山に打刻している。

カムの種類がわからなくなった場合は、打刻数字を確認する。



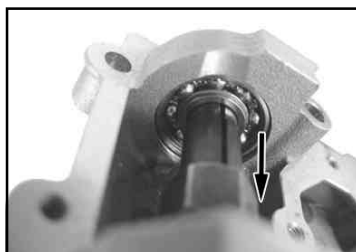
○カムシャフトのベアリングを点検する。

○ベアリングのアウトレースを指で回し、滑らかに回らない、アウトレースにガタがある場合、ボールベアリング又はカムシャフトを交換する。

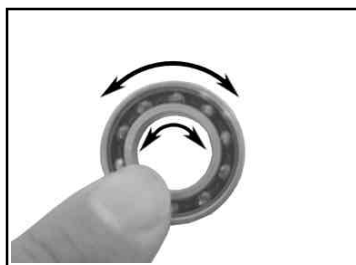


○ベアリングの点検

○シリンダーヘッドからボールベアリングを取り外す。

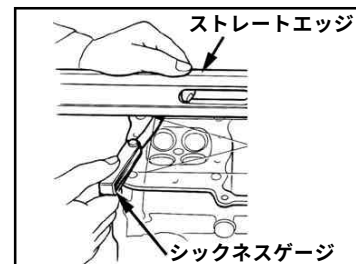


○ベアリングのレースを指で回し、滑らかに回らない、レースにガタがある場合交換する。



○シリンダーヘッドの点検

○スパークプラグ穴、バルブ穴付近の亀裂を確認する。
シリンダーヘッドの歪をストレートエッジとシックネスゲージで点検する。



使用限度：0.05mm以上修正又は交換

○カムギアの点検

○各カムギアの歯に摩耗、損傷がないか点検する。



○センターカムギアのギア、スプロケットの摩耗、損傷がないか点検する。



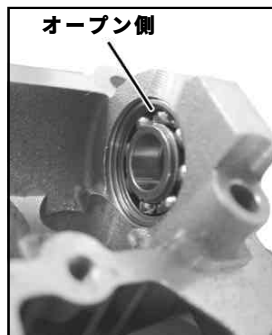
インスペクション／マニュアル

- センターカムギアのベアリングのインナーレースを指で回し、インナーがスムーズに回転するかを点検する。滑らかに回らない、インナーレースにガタがある場合、センターカムギア C O M P . で交換する。



○ベアリングの取り付け

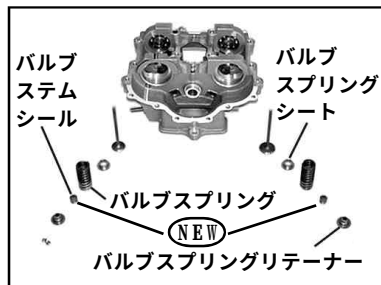
- シリンダーヘッドにボールベアリングのシールドのない方をカムシャフト側に向け取り付ける。



○バルブ組み立て

- バルブスプリングシート、バルブステムシールを取り外した場合は、バルブスプリングシートを取り付け、新品のバルブステムシールを取り付ける。

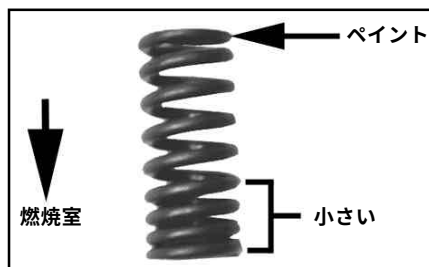
△ 注意：バルブステムシールを取り外した場合は、必ず新品に交換する。



- バルブを組み付ける際は、必ずエンジンオイル又はモリブデン溶液をバルブステム部に塗布する。

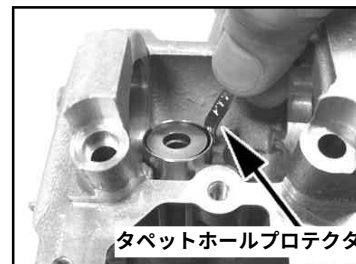
- バルブスプリングのピッチの小さい方を燃焼室側に向けて取り付ける。
(ペイントされている方を上にする。)

△ 注意：必ずピッチの小さい方を燃焼室側に向ける事。



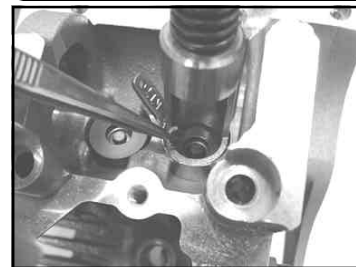
- バルブスプリングリテーナーを取り付ける。

- バルブリフタボアにタペットホールプロテクタを取り付ける。



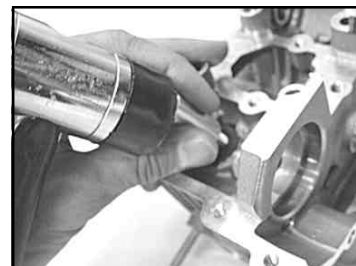
- バルブスプリングコンプレッサーを使用して、バルブスプリングを圧縮し、バルブコッタを取り付ける。

△ 注意：必要以上にバルブスプリングを圧縮しない事。



- バルブステム先端を軽く 2～3 回たたき、バルブとバルブコッタのなじみを良くする。

△ 注意：バルブを損傷しない様に注意する事。

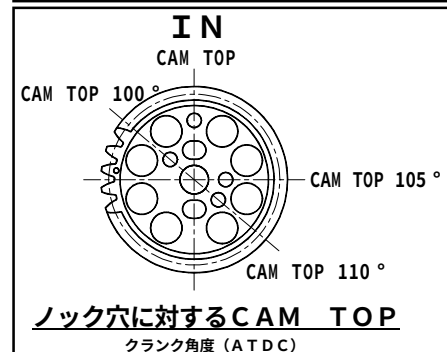
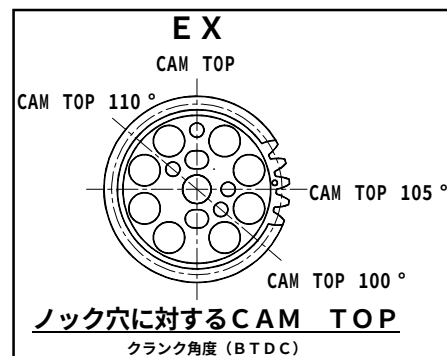


インスペクション／マニュアル

○カムギア ノックピン位置

◎カムギアのノックピン位置を変更する事で、バルブタイミングを変更する事が出来るようになります。

- ピン位置でのカムトップ（中心角）は下図のようになるが、あくまでも目安であって、正確な角度はタイミングプロトラクターとダイヤルゲージを使用して測定して下さい。



☆注意

- ピン位置を指定の位置から変更した場合、本来の性能が発揮されない場合があります。変更する場合は、指定の位置を基本とし、調整する様心掛けて下さい。
- バルブタイミングをよく理解されていない方は、指定の位置から変更しない様にして下さい。

△注意

- 車両に取り付けて調整する場合、エキゾースト側のカムシャフトを取り外した場合、バルブリフタが抜け落ちる場合があります。抜け落ちた時は、ヘッドカバーを外し、シム、バルブリフタを必ず元の位置に取り付けて下さい。

○バルブタイミング調整

- スパークプラグを取り外し、プラグホールからダイヤルゲージをセットし、ピストン上死点を合わせます。
 - クランクシャフトにタイミングプロトラクターを取り付け、プロトラクター目盛を '0' に合わせナットを締め付けます。再度上死点を確認する。
(ズレている場合は、ポインターで調整する。)
- ∴タイミングプロトラクター：00-01-0062

- シリンダーヘッドバルブリフタにダイヤルゲージを垂直になる様、マグネットベーススタンドを使用しセットします。
この時、ダイヤルゲージを押した状態でセットし、目盛を '0' に合わせます。
(カムシャフトにダイヤルゲージロッドが干渉しない様、専用ロッドを使用する事。)
- クランクシャフトを正回転させ、バルブの開閉及びカムトップの角度を読み取ります。

☆バルブ開閉の求め方

クランクシャフトを正回転させ、ダイヤルゲージの目盛でバルブ1mmリフトした時のクランクシャフトの目盛が開、そのままクランクシャフトを正回転させ再びダイヤルゲージの目盛が1mmの時が開。

☆カムトップの求め方

クランクシャフトを正回転させ、バルブリフタにセットしたダイヤルゲージの目盛が最大時のタイミングプロトラクター（分度器）の目盛がカムトップのクランク角度となる。

ホンダ純正シム一覧表

[illegible]

DOHC head ボア&ストロークアップ参照表 (124cc)

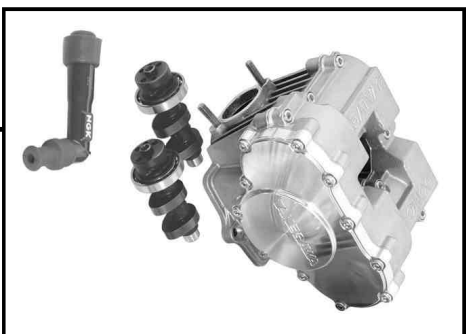
Reference data on bore- & stroke-up kit (124cc)

NGK-ER8EH
スパークプラグ
Spark plug

00-00-0247
プラグソケット 13mm
Plug socket 13mm

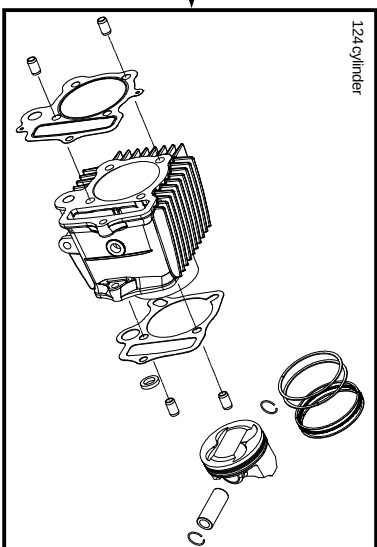


01-03-6022



オプションカム
Option Camshaft

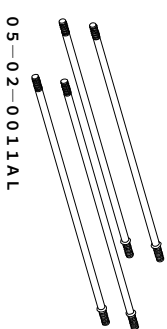
01-04-6002 鍛造ピストン
メッキシリンダー Plated cylinder



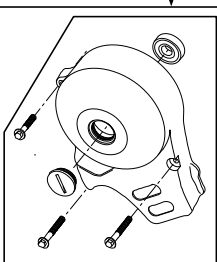
2 B又は3 Bクランク選択
Select a 2B or 3B crank

01-10-8042T

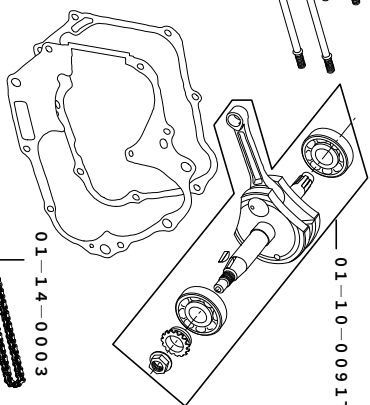
3点支持クランクシャフト-54mmストローク (3B)
Three-point supporting crank shaft-54mm stroke (3B)



05-02-0011AL

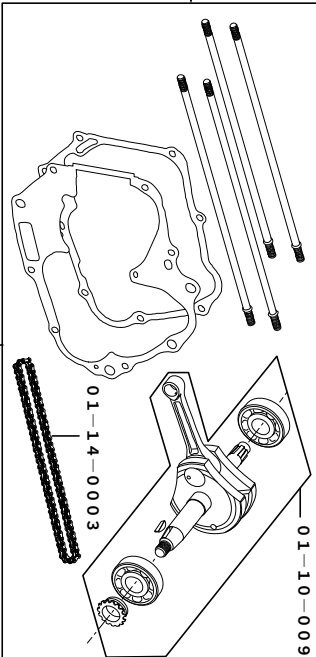


01-10-0091T



01-14-0003

54mmストローク
54mm stroke



01-10-0091

01-14-0003

01-10-8042

Camshaft, repair or option		Cam	Item No.
Included in the kit (キット付属品)		D25/30	01-08-072
Option		D15/15	01-08-071
Option		D10/10	01-08-070
Option		D25/25	01-08-0013
Option		D30/30	01-08-0014

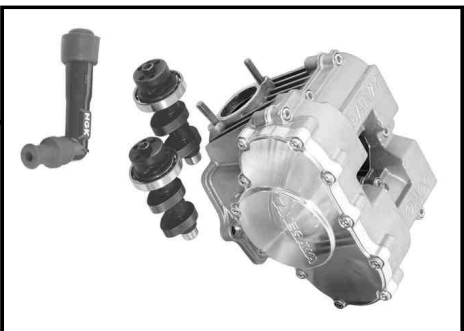


☆ 01-03-6022 シリンダーヘッドキットのみで購入された場合、この参照表にて専用パーツを検討して下さい。

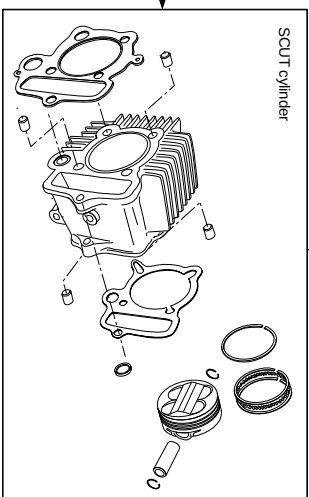
If you have purchased a cylinder head kit only (Item No. 01-03-6022), please study to install these special parts referring to this reference data.

DOHC head ボアアップ参照表 (106cc) Reference data on bore - up kit (106cc)

01-03-6023



オプションカム
Option Camshaft



01-04-6001

NGK-ER8EH
スパークプラグ
Spark plug



00-00-0247
プラグソケット 13mm
Plug socket 13mm



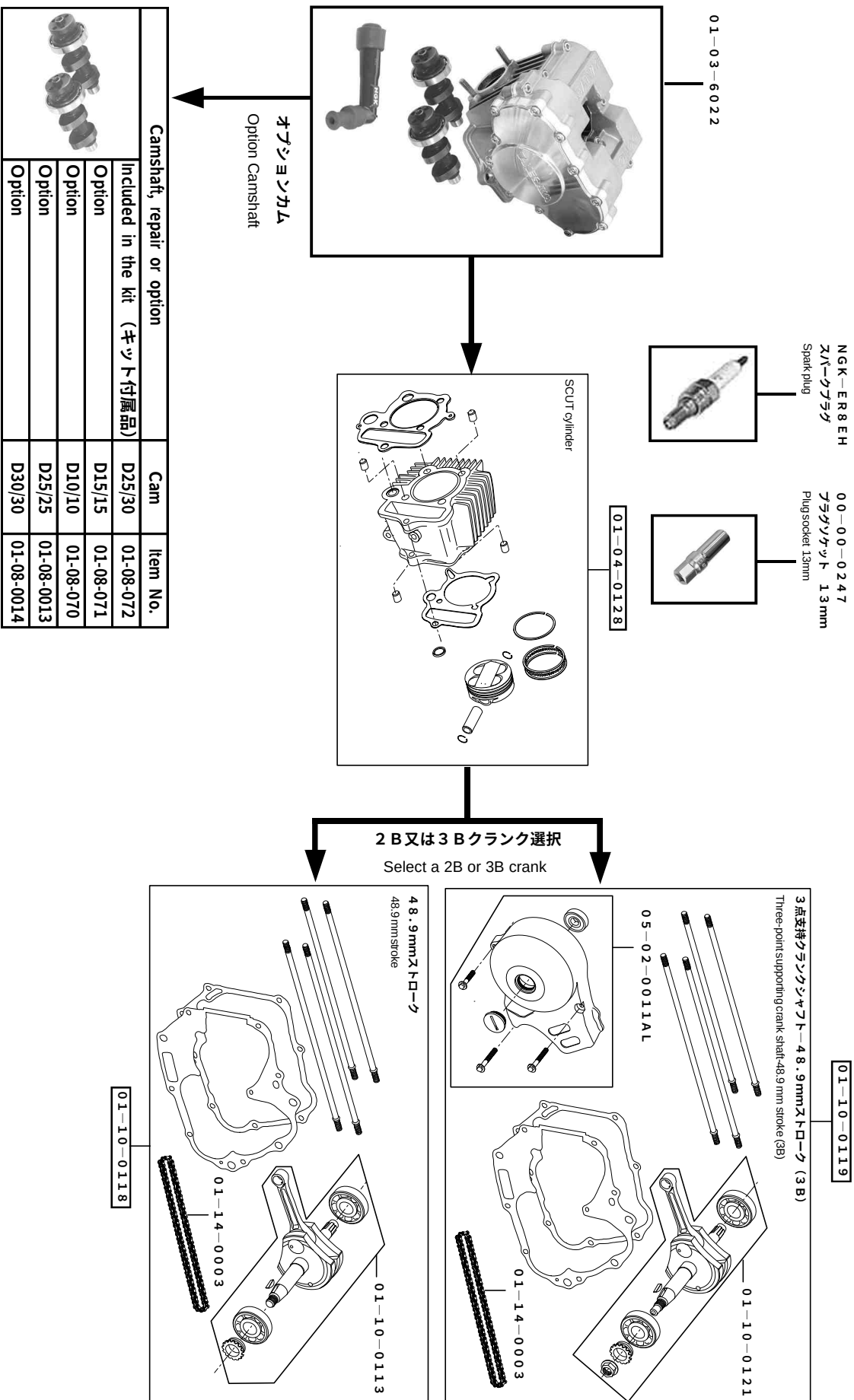
Camshaft, repair or option		Cam	Item No.
Option		D25/30	01-08-072
Included in the kit (キット付属品)		D15/15	01-08-071
Option		D10/10	01-08-070
Option		D25/25	01-08-0013
Option		D30/30	01-08-0014

☆01-03-6023 シリンダーヘッドキットのみで購入された場合、この参照表にて専用パーツを検討して下さい。

If you have purchased a cylinder head kit only (Item No. 01-03-6023), please study to install these special parts referring to this reference data.

DOHC head ボア&ストロークアップ参考表 (125cc)

Reference data on bore- & stroke-up kit (125cc)



☆ 01-03-6022 シリンダーヘッドキットのみで購入された場合、この参照表にて専用パーツを検討して下さい。

If you have purchased a cylinder head kit only (Item No. 01-03-6022), please study to install these special parts referring to this reference data.

DOHC head ボア&ストローキツ参照表 (138cc)

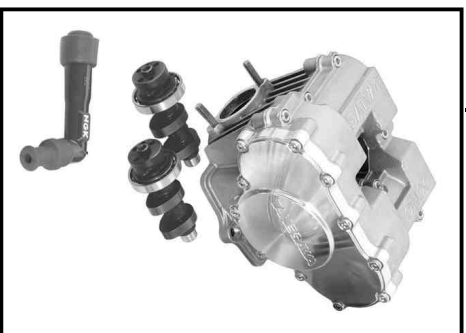
Reference data on bore- & stroke-up kit (138cc)

NGK-ER8EH
スパークプラグ
プラグソケット 13mm

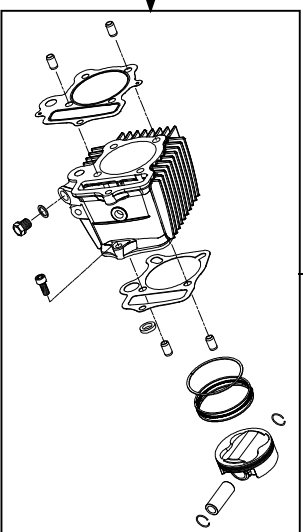


01-04-0132

01-03-6022



オプションカム
Option Camshaft

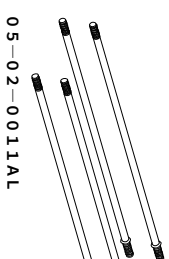


2 B又は3 Bクランク選択

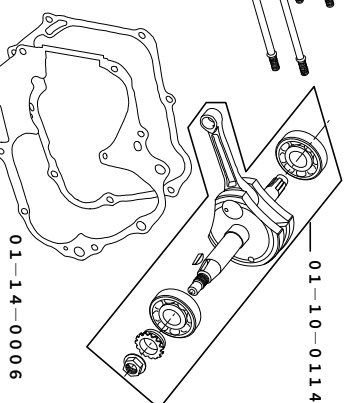
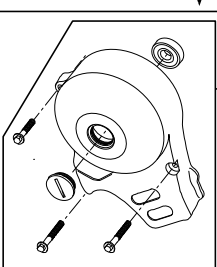
Select a 2B or 3B crank

01-10-0093

3点支持クランクシャフト-54mmストローク (3B)
Three-point supporting crank shaft-54mm stroke (3B)



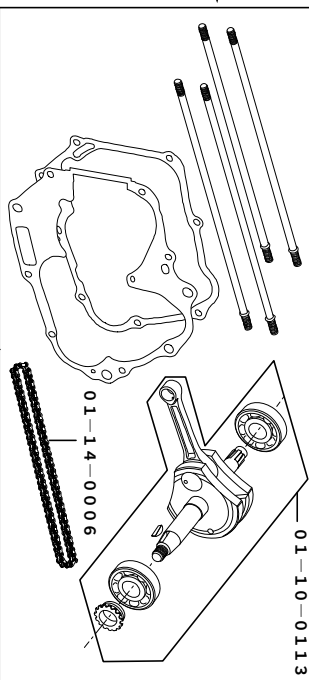
05-02-0011AL



01-10-0114

01-14-0006

54mmストローク
54mm stroke



01-10-0113

01-14-0006

01-10-0092

Camshaft, repair or option	Cam	Item No.
Included in the kit (キット付属品)	D25/30	01-08-072
Option	D15/15	01-08-071
Option	D10/10	01-08-070
Option	D25/25	01-08-0013
Option	D30/30	01-08-0014



☆ 01-03-6022 シリンダーヘッドキットのみで購入された場合、この参照表にて専用パーツを検討して下さい。

If you have purchased a cylinder head kit only (Item No. 01-03-6022), please study to install these special parts referring to this reference data.